

# 神戸・長田発 13社の靴が集合

神戸・長田のケミカルシューズメーカーなど13社による自社ブランド品のフェアが、21日からそごう神戸店(神戸市中央区)で始まる。限定販売品など約420の靴が並ぶ予定で、百貨店で聞く長田のシューズフェアでは最大規模。業界では他社のブランド靴を委託生産する企業が多い中、自社ブランドの確立や、販路の開拓を目指す。(岡部江利)

## 百貨店と連携 フェアを開催

21日からそごう神戸店



「さあ、売ろぞ!」。自慢の靴を手に意気込む、「神戸シューズコレクション」出展企業の担当者ら＝神戸市長田区稲田町7、シューズプラザ

「くつのもちながた」「神戸シューズコレクション」。同日1時、約100平方メートルの特設売り場を設け、9月7日まで18日間開く。

各社の商品をデザインや履き心地などで分類し、顧客が選びやすくする。東京の西武池袋本店やそごう千歳店などでも開催予定。

これまで2回、大阪・梅田の阪神百貨店で同種のフェアを開いているが、参加社数は今回が最大。神戸発の読者モデル・中島彩さんがデザイン

した限定商品も登場する。自社ブランドの靴を初めて百貨店で販売するラクダ護国工業(神戸市須磨区)の竹村衛事務(48)は「百貨店で販売できることは、昔は夢にも思わなかった。どんな評価がもらえるか楽しみ」と話す。そごう神戸店も「靴の地産地消を応援するとともに、読者モデルと連携した商品を扱うことで、若い世代を百貨店に呼び込むのにつなげたい」と、フェア開催に積極を見たいと話す。